

棉の摘芯予備試験

町田博, 倉嶋留次郎,

目的 陸地棉の成熟を促進し、開絮筋数を多くするために摘芯が行われるが、当地におけるその適期を予備的に知るため、

試験地 学内農場

播種 5月13日に播種、全21日に発芽し始め、全23日に発芽が揃った。

試験区 上記に播種した棉品種保存圃中の陸地棉5品種の、それぞれ生育の揃った5株を選び、次の3区を設けた。

第1期 8月20日摘芯

第2期 9月4日

第3期 9月12日

摘芯方法 各期において、主茎は着花最上段の上で摘芯し、結果枝は着花節位の先で摘梢した。

成熟調査 11月2日までに開絮した期を漸次収穫し、以後株を抜取って圃場におき、12月26日に後熟開絮したもの(木採筋)と未開絮期を調査した。

成績 摘芯時における各品種の生育状況は次のようである。

摘芯時の生育状況

区	品 種	摘 芯 前 茎 長 cm	摘 芯 時 の	
			結果枝数	花 数
第 1 期 区 8月20日	Stonvill	70.8	10.4	18.2
	Kings' improved	80.5	10.5	21.4
	Express	83.1	11.4	23.1
	Delfos	68.4	10.2	19.5
	唐 棉	66.5	10.7	15.7
			73.9	10.6
第 2 期 区 9月4日	Stonvill	73.5	11.5	21.7
	Kings' improved	77.4	10.8	14.4
	Express	79.3	10.3	21.6
	Delfos	75.7	11.3	21.1
	唐 棉	72.3	10.7	15.7
			75.6	10.9
第 3 期 区 9月12日	Stonvill	75.8	13.7	26.2
	Kings' improved	75.5	11.8	19.0
	Express	80.8	11.1	16.3
	Delfos	78.8	12.6	20.0
	唐 棉	75.5	11.8	17.0
			77.3	12.2

上表でみると、第1期区、第2期区、第3期区と順に茎長、結果枝数、花数は増進しているのが当然であるが、花数に異常をみるのは落蕾のためであろう。

この表から5品種間の生育をみると、Kings' improved、Expressの生育が進んでいて、Stonvillがおくれているし、唐棉の生育が悪かった。

次に成熟調査の成績をみると下表のようである。

成熟成績

摘心期	品 種	落蕾数	開架蕾数	開架率	木採蕾数	未成熟数
第1回 8月20日	Stonvill	1.5	14.1	77.5	1.4	1.1
	Kings' improved	1.4	16.7	78.0	2.8	0.4
	Express	1.7	19.4	84.0	1.1	0.7
	Delfos	1.2	16.1	82.6	1.4	0.7
	唐 棉	1.1	12.7	80.9	1.4	0.4
	平 均	1.4	15.8	80.6	1.6	0.7
第2回 9月4日	Stonvill	1.0	16.3	75.1	3.1	1.3
	Kings' improved	1.7	9.4	65.3	1.9	1.6
	Express	1.4	15.3	70.8	3.9	1.3
	Delfos	1.4	16.9	80.1	1.7	1.1
	唐 棉	1.1	12.1	77.1	1.4	1.0
	平 均	1.3	14.0	73.7	2.4	1.3
第3回 9月12日	Stonvill	2.4	15.0	57.3	5.5	3.4
	Kings' improved	2.1	9.4	49.5	3.7	3.7
	Express	2.1	7.6	46.6	2.0	4.6
	Delfos	2.1	11.4	57.0	2.7	3.7
	唐 棉	2.1	6.7	39.4	3.4	4.7
	平 均	2.2	10.0	50.0	3.5	4.0

上表でみると、第1期区、第2期区、第3期区と順を追って開架蕾数と開架率(開架蕾数÷開花数×100)ともになくなり、未成熟蕾数は多くなっており、第1期が当地における摘心時期として適しているようである。

殊にKings' improvedとExpressは開架蕾数と開架率がともに第2期に著して下っているところから特に摘心は早い方がよいと考えられる。